

日高の記憶

vol. 1

問い合わせ 生涯学習課文化財担当
☎985-0290

高麗郷民俗資料館では、人々の生活や生産に使った道具を保存しています。これらは日高に生きた人々の歴史であり、移り行く時代にあって日高の記憶を物語る大切な資料です。

日高の人の発明品「桑扱器」

生産に使われた道具【養蚕】その①「桑摘み」

かつて養蚕は大切な収入源であり、市内でも多くの農家がカイコを飼っていました。5月頃から10月の初頭まで、多い家では5回繭を取りました。

桑摘みはカイコの餌である桑を取る作業です。桑の木から枝ごと切り落とす場合と、葉のみを採る場合があります。枝についた葉は「桑扱器」を使って葉を落としました。



▲桑刻機
桑葉の大きさを整えるため、右側取手の包丁を上下させて桑を刻みました。



▲桑ツメ
人差し指にはめ、桑の葉を摘み取りました。



◀桑扱器
この桑扱器には、専売特許一〇三四号の焼き印があります。明治23年、当時の高麗村清流和田文次郎氏と高麗川村鹿山の駒井吉兵衛氏により発明されたものです。



▲桑摘みの様子。枝ごと摘み取っています。



「3人目、女の子が
生まれたよ!」

遠藤 幸樹ちゃん 4歳8か月
楓真ちゃん 2歳10か月
明愛ちゃん 4か月
(下鹿山)



「祝! 100日記念
日高市で
のびのび育てね」

田中 依和ちゃん 6か月
(高萩)



お子さんの写真を掲載しませんか?市ホームページ「便利なサービス」にある「電子申請」から投稿できます。プリントした写真を提出する場合は、お子さんの氏名・生年月日、保護者の方の住所・氏名・電話番号、一言コメントを市政情報課市政情報担当へ郵送または直接お寄せください。

投稿はこちら→



暑さ厳しく、40℃近くまで気温が上昇する日もある8月でした。毎回思い悩む表紙写真ですが、今月はすてきなシャッターチャンスがありました。また制限はありながらも、公民館イベント等も再開し、「あなたのまちから」も満載の内容でお届けできます。さらに今月からは裏表紙に「日高の記憶」という新しいコーナーを設けました。新型コロナウイルス感染症の影響で例年通りとはいかないことも多くありますが、広報ひだかでは市民の皆さんに楽しんでもらえる内容を提供できるように努めていきます。日々、進化していく広報ひだかにご期待ください。(橋本)

編集室

皆さんに聞きました! 子どもの好きなものは?



佐藤 まりこさん (高萩)
はるかちゃん



下田 直美さん (横手)
今井 ひよりちゃん